

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻	実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング
科目名称 [英語名称]	環境保全園芸学特別演習Ⅰ [Advanced Seminar on Sustainable Horticulture, part 1]						○
科目コード	642321	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	山口 健一			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1,2		
授業概要	環境保全園芸学特論Ⅰ、環境保全園芸学特論Ⅱ等の講義や環境保全園芸学特別実験等で習得した知識をもとに、環境保全園芸学に関する高度な研究の実例を学術論文・書籍等(和文)を教材として議論し、当該専門分野の背景や手法、現状について理解することを目的とする。【知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】						
関連する科目	履修前: 環境保全園芸学特論Ⅰ・Ⅱ 履修後: 環境保全園芸学特別演習Ⅱ						
授業の進め方と方法	提示する専門書籍あるいは学術論文について、受講生が事前に調べてプレゼンテーションを行う。それをもとに教員を含めた受講生で深く討議する。本授業では、大学院生と指導教員がディスカッションしながら、問題解決型の学習とし、受講生のプレゼンテーションや研究スタッフのディベートを取り入れて行う。						
授業計画	<p>授業は概ね以下の内容で進行する。</p> <p>第01回 授業の進め方(受講者の課題を決定)とプレゼンテーション例(教員) 受講生の課題を決め、高度な発表方法を学ぶ。</p> <p>第02回 課題に対する受講者のプレゼンテーション・質疑応答(大学院生、問題解決型学習) 課題ごとに高度な発表スキルを身につけ、質疑応答方法を学ぶ。</p> <p>第03回 同上 第04回 同上 第05回 同上 第06回 同上 第07回 同上 第08回 まとめ(Ⅰ前半) 前半の研究課題の背景や手法、結果等を理解、共通認識する。</p> <p>第09回 課題に対する受講者のプレゼンテーション・質疑応答(大学院生、プレゼンテーション) 第10回 同上(プレゼンテーション) 第11回 同上(プレゼンテーション) 第12回 同上(プレゼンテーション) 第13回 同上(プレゼンテーション) 第14回 同上(プレゼンテーション) 第15回 まとめ(Ⅱ後半) 前半の研究課題の背景や手法、結果等を理解、共通認識する。</p>						
授業の到達目標	専門分野における科学論文(和文)について、読解力及び要点を纏めて発表する力を身につける。【専門分野の高度なスキルの獲得】						
授業時間外の学修	【予習】予め次回の課題をアナウンスするので、各自で予習を行う(論文事前配布)。 【復習】授業で用いた学術論文の内容について受講生各自で毎回復習する。 なお、不明な箇所は、必ず担当教員に質問して学びを深める。						
課題に対する フィードバック	授業内の討議で出た質問等については、補足及び理由を付して正答を示す。	評価方法		各プレゼンターについて理解度及び発表力(50点)を、その他については質問の的確さ及び受講態度(50点)を総合的に評価する。			
テキスト	受講生各自の課題(論文)を第1回授業で発表、配付する。						
参考書	課題毎に関係する書籍・論文等を適宜紹介する。						
備考							